

4. ガラスびんのリサイクル状況

ガラスびんの生産が減少基調にある中、分別収集されたガラスびんから再商品化されたカレットの利用量はほぼ横這いとなっており、これによりカレット利用率は微増傾向にある。

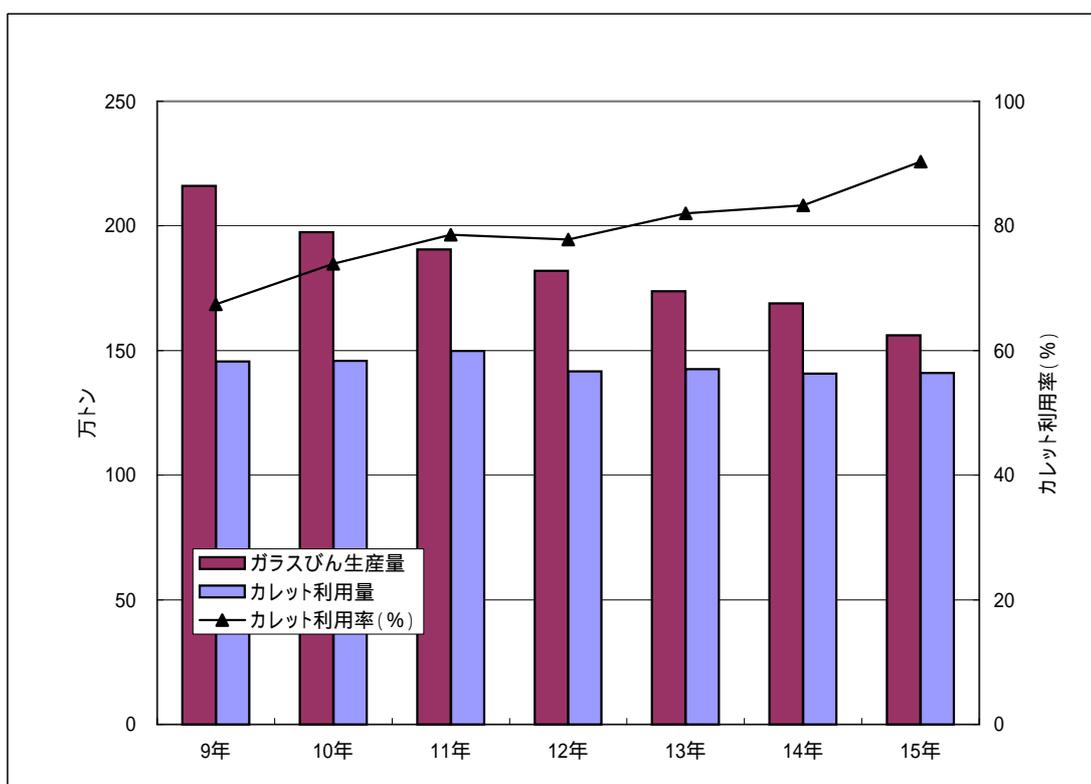
指定法人ルートのカレットの用途については、平成14年度に減少に転じていたびん原料向けが15年度に回復し、その一方、他用途向けが減少した。これにより、容リ法施行以降年々減少傾向にあったびん原料の割合が平成15年度増加に転じた。

(1) ガラスびんの生産量及びカレットの利用量・率

単位: 万トン

	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年
ガラスびん生産量	216.0	197.5	190.6	182.0	173.8	168.9	156.1
カレット利用量	145.6	145.9	149.8	141.6	142.5	140.8	141.0
カレット利用率 (%)	67.4	73.9	78.6	77.8	82.0	83.3	90.3

出所: 雑貨統計、日本ガラスびん協会、ガラスびんフォーラム



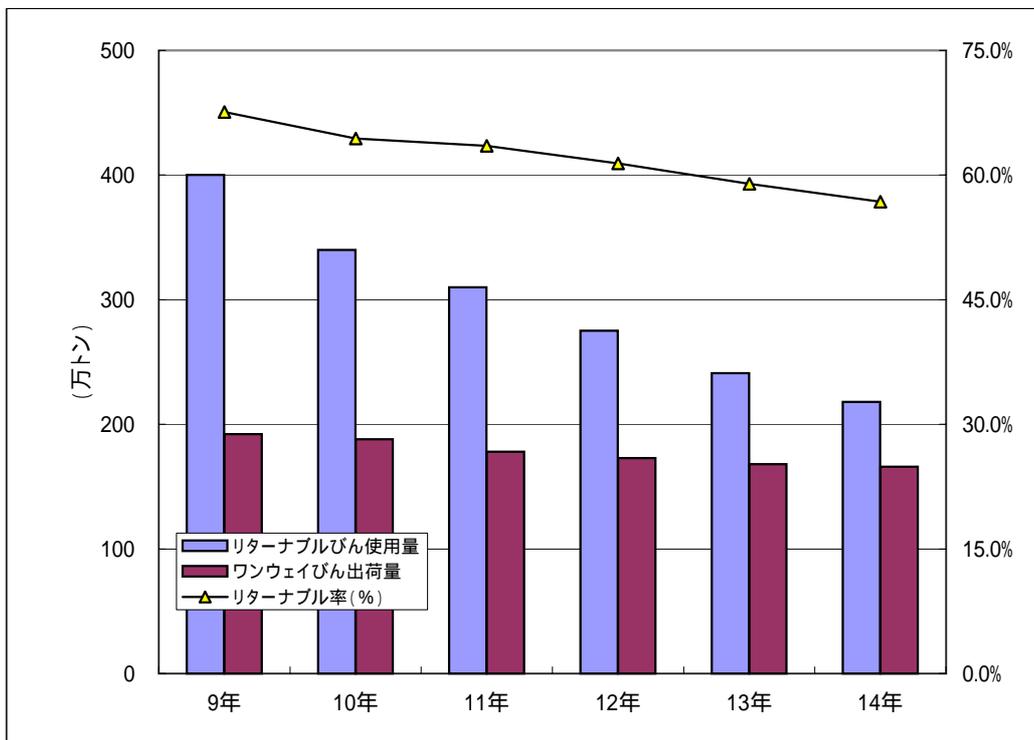
(参考)リターナブル率の推移

単位:万トン

	9年	10年	11年	12年	13年	14年
リターナブルびん使用量	400	340	310	275	241	218
ワンウェイびん出荷量	192	188	178	173	168	166
リターナブル率(%)	67.6%	64.4%	63.5%	61.4%	58.9%	56.8%

出所: ガラスびんリサイクル促進協議会

注: リターナブル率 = リターナブルびん使用量 / (リターナブル使用量 + ワンウェイびん出荷量)



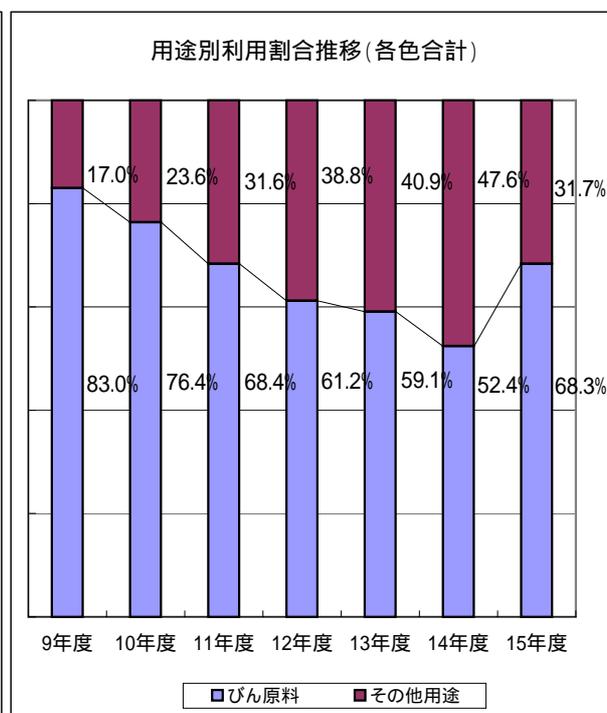
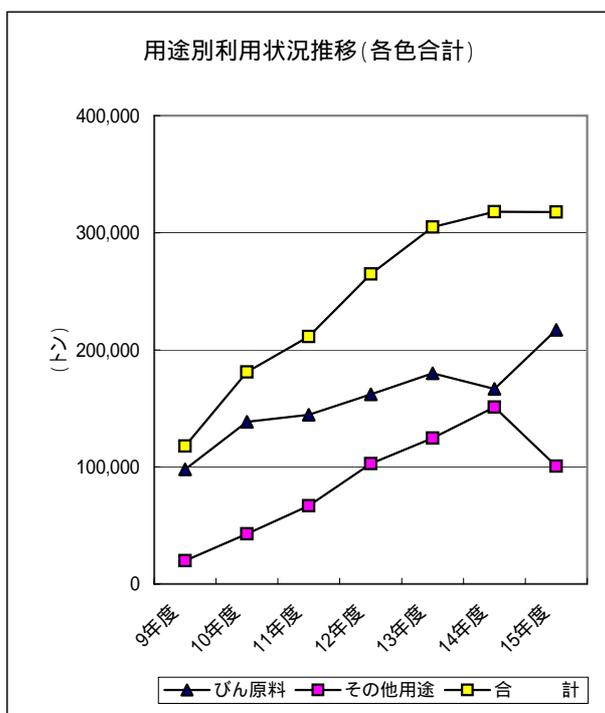
(2)カレットの用途別利用状況(指定法人ルート)

用途別利用状況推移(各色合計)

単位:トン

	9年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度
びん原料	97,806	138,383	144,485	161,988	180,083	166,653	217,118
その他用途	20,005	42,764	66,821	102,700	124,681	151,164	100,648
ガラス短繊維	0	3,232	7,477	13,332	14,865	14,909	19,918
焼成タイル	0	0	8,273	18,405	14,326	5,704	6,137
舗装用骨材	9,837	11,830	34,813	28,712	39,086	52,751	14,356
路盤材・埋戻し材	8,905	15,985	10,171	15,244	14,867	45,166	33,705
土木・建築材	1,263	11,717	6,087	27,007	41,537	32,634	26,532
合 計	117,811	181,147	211,306	264,688	304,764	317,817	317,766

出所:(財)日本容器包装リサイクル協会



色別「びん原料」利用割合推移

単位:%

	9年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度
無色	97.8	99.9	97.9	95.4	96.8	80.4	90.8
茶色	97.0	96.0	82.9	81.3	71.9	68.0	89.9
その他色	24.4	22.0	14.6	8.4	5.6	4.2	16.0

出所:(財)日本容器包装リサイクル協会